

市民が講師!?「みんなで創るふくし専門講座」

福祉 works MANMARE

〒765-0021 香川県善通寺市下吉田町 259-10

助成事業の概要

1. 目的 草の根のように地域を支える取り組みを続けている市民活動家を講師に迎え、地域課題に関心を持つ市民と福祉・教育の仕事に従事している専門職が、その実践から学び気づきを得る。
2. 主催 福祉 works MANMARE
3. 後援 丸亀市、丸亀市社会福祉協議会、四国学院大学、香川県社会福祉協議会（第 3 回は丸亀市教育委員会が追加後援）
4. 協力 丸亀市市民交流活動センターマルタス
5. 事業期間 2025 年 6 月～11 月
6. 実施結果
第 1 回「認知症施策と認知症カフェ」
6/14(日) 参加者 29 名
第 2 回「子どもの自立について」
8/22(金) 参加者 28 名
第 3 回「自主防災でコミュニティづくり」
10/12(日) 参加者 30 名
第 4 回「多世代をつなぐこどものチカラ」
11/14(金) 参加者 31 名

事業の成果

第 1 回「認知症施策と認知症カフェ」
講師 丸亀市地域包括支援センター センター長 入江準子氏
にじいろカフェ城南 代表 合田貴美子氏
認知症になっても安心して暮らせる社会について、丸亀市市役所職員からの制度的な説明と、当

事者・家族が中心となって進めている認知症カフェの取り組みについて紹介をいただく。ワークショップでは大学生・高校生も一緒になって意見交換を行った。

第 2 回「子どもの自立について」

講師 中高生保護者 きむら氏

市民活動団体代表者をゲストに迎え、子どもたちを取り巻く環境と親世代の生き方のヒントを伺う。参加者の中には自身の子供が不登校・ひきこもりの方もおられ、ワークショップでは親の思い、子どもの思いについてそれぞれ意見を述べながら理解を深めた。

第 3 回「自主防災会でコミュニティづくり」

講師 丸亀市川西地区自主防災会 会長 岩崎正朔氏

午後からオープンラウンジにて防災用品の展示（自主防災会メンバー 5 名が協力）

30 年に渡って自主防災ボランティアとして活動を進めて来られた団体の代表者をお迎えし、公開講座として開催。広く様々な方に受講いただいた。実際に被災地支援に行かれた様子や、定期的な防災訓練、災害用品の整備や点検についてその取り組みと実践を継続してきた思いを伺った。当日の午後からはオープンラウンジで防災用品の展示もあり、実演を含めた用品の説明をいただいた。

第 4 回「多世代をつなぐこどものチカラ」

講師 認定 NPO 法人 NPO 高知市民会議 元事務

局長畠中洋行氏

ファシリテーター 株式会社わらびの 元代表
畠中智子氏

高知県高知市で毎年夏に開催されている「とさっ子タウン」の取り組みを紹介いただき、若者たちがまちに関心を持ち、主体的に行動できる人材の醸成に取り組む様子を講義いただいた。

まる人たちがまちに存在しており、今後の持続可能な社会の実現に向けて活躍されることを期待しています。「ふくし」をテーマとして広域的に集まるあらゆる年齢層の人たちと一緒に、これからの地域課題を解決していきたいと考えています。

成果の広報・公表

1 ～ 4 回の連続講座のレポートをとりまとめ、報告書を印刷し、冊子として作成しました。作成した冊子は講師・受講いただいた方々をはじめ普段団体に協力いただいている賛同者へ成果物として配布しました。

また、ボランティアとして参加いただいている学生が所属する大学・専門学校、高校へ郵送。丸亀市内コミュニティセンター（17 か所）へは丸亀市地域づくり課を通じて配布いただきました。

今後団体の活動紹介をする機会にも冊子を活用し、2025 年度事業として開催したことを広く周知していきます。

今後の展開

市民活動を進める中で、様々な地域課題に向き合い、地域を支える取り組みを続けている団体や個人の方に出会いました。福祉関係者を取り巻く環境は年々厳しくなり、所属するスタッフのみで事業運営を行おうとしても、財源や人員の不足により十分なニーズ対応ができない状況になっています。一方、今後本格的な少子高齢・人口減少社会を迎えるにあたっては、より多くの市民（住民）が福祉に関心を持ち、その地域を支える一員として役割を持つことが求められます。地域コミュニティの力が弱まる中、各種のテーマで広域的に集